

下水道展 '21大阪に出展

2021年8月17日～20日にインテックス大阪にて、公益社団法人日本下水道協会主催の「下水道展 '21大阪」に神鋼環境メンテナンスと共同でブースを出展しました。

今回の下水道展は同協会による“新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン”に基づいた会場全体の検温・消毒・換気等に加え、出展各社の感染防止に向けた工夫が凝らされたブース展示が行われました。当社ブースでもご来場のお客様に安心してお越しいただけるようアテンド対応者の体調を毎日チェックし、ブース内の人数を管理してソーシャルディスタンスを確保するなど万全を期して製品PR・商談に臨みました。

コロナ禍での開催により下水道展全体の来場者数は例年より少なく約12,000名、うち当社ブースには約400名が来訪されました。

今回は低圧損型メンブレン式超微細気泡散気装置「PABIO TUBE」の実物を用いた散気模型水槽、難脱水対応強化型スクリープレス脱水機や汚泥燃料化技術についてのパネル展示を行いご来訪のお客様に当社注力技術についてご紹介しました。同時に開催された下水道研究発表会では環境配慮型創エネ焼却システムに関する実証研究について発表しました。

当社ブースにお越しのお客様には感染予防対策においてご不便をおかけしましたが、皆様のおかげをもちまして無事に展示会を執り行うことが出来ました。ご協力のほど、誠にありがとうございました。

